

# 肺CT検査のススメ

～より早期に肺がんを発見するために～

がんは  
日本人の  
死因1位



がんは日本人の死因で最も多い病気です。厚生労働省が2023年9月に公表した人口動態統計によると、2022年にがんで約38万人の方が亡くなっていました。

この中でも肺がんは死亡者数が第1位であり、約7万6000人が肺がんで亡くなっています。男女別の死亡者数では、男性で約5万3000人(死亡率第1位)、女性で約2万3000人(死亡率第2位)でした。

また、肺がんは年々増加してきており、2018年には約12万3000人(男性は約8万2000人、女性は約4万1000人)が肺がんと診断されています。



死亡者数  
1位は  
肺がん

## 早期発見で完治を目指す

肺がんは、早期ではほぼ無症状であり、症状が現れた時点では、すでに進行していることも少なくありません。

肺がんの生存率は肺がんの病期(ステージ)や種類によって異なりますが、病期が進むと生存率も低くなる傾向があり、より早期に診断し、治療を開始した方が生存率も高くなることがわかっています。

一般的な検診ではレントゲン検査が行われていますが、**肺CT検査ではレントゲンでは見つけることが難しい小さな病変を見つけ出すことが可能**であり、早期の肺がんを発見することで肺がんの死亡率を低くすることが期待されています。

### 肺CT検査はこんな人に オススメ

- ☑ 喫煙歴がある
- ☑ 受動喫煙の心配がある
- ☑ 血縁者に肺がんの人がいる
- ☑ 治りにくい咳が出る
- ☑ 血痰が出る
- ☑ 胸痛がある

特に50歳以上の喫煙歴のある方や、血縁者に肺がんの人がいる方は定期的に検査を受けることをお勧めしています。また、検診で胸部の異常影を指摘された方は、肺CTでの精密検査を行いますのでご相談ください。

### CT検査の流れ

検査時間:5分~10分程度

検査する部位に金属(ブラジャーやファスナーなど)がある場合は外していただきます。シャツのボタン(プラスチックのもの)はそのままで大丈夫です。



検査台に仰向けに寝ていただき、ドーナツ型の装置を通り抜けると撮影が出来ます。※胸部・腹部の撮影では一時的に息を止めて検査を行います。



### 安全で高画質!/ 先端技術を備えた マルチスライスCT

当院では先端技術を備えたマルチスライスCTを導入しており、放射線の被ばく線量を抑え、高画質の撮影を行います。また、最新技術によりレントゲン検査と同等の被ばく線量で撮影できる低線量CT検査も行っております。



肺がんは早期発見することで、治療の選択肢を増やし、完治を目指すことも出来ます。早期発見・早期治療が重要であり、そのためにも肺CT検査をお勧めします。肺CT検査を希望される方は当院までお気軽にお問い合わせ下さい。

しっかり  
対策するっぴ

